

平成28年度春夏作芝関係 除草剤・生育調節剤試験判定結果

(公財)日本植物調節剤研究協会 技術部

平成28年度春夏作芝関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、平成28年11月15日(火)にホテルラングウッドにおいて開催された。

この検討会には、試験場関係者19名、委託関係者54名ほか、計82名の参集を得て、除草剤9薬剤(55点)、生育

調節剤8薬剤(34点)について、試験成績の報告と検討が行われた。

その判定結果および使用基準については、次の判定表に示す通りである。

平成28年度春夏作芝関係除草剤・生育調節剤試験判定

A. 除草剤

薬剤名 有効成分 および含有率(%) [委託者]	作物名	ねらい	判定	判定内容
1. HAT-511 粒 メコプロップPカリウム塩 :1.0% DBN:1.0% N:P:K:Mg=11:8:7:3 [保土谷アグロテック]	コウライシバ	雑草発生前	継	継) ・効果薬害の確認(コウライシバ)
	コウライシバ	雑草発生初期		
2. HAT-611 粒 メコプロップPカリウム塩 :1.0% DBN:1.0% [保土谷アグロテック]	コウライシバ	雑草発生前	継	継) ・効果薬害の確認(コウライシバ)
	コウライシバ	雑草発生初期		
3. HPW-112 乳 IPC:50% [保土谷UPL]	コウライシバ	スズメノカタビラ発生初期 (年次変動の確認)	実・継 従来どおり	実) [春夏作:(コウライシバ、ノシバ)スズメノカタビラ] ・芝生育期、雑草発生初期 ・0.4~0.8mL<200~300mL>/m ² ・土壌処理 継) ・倍量薬害試験での確認(コウライシバ、ノシバ) ・連用試験の確認(コウライシバ、ノシバ) ・実証試験での確認(コウライシバ、ノシバ) ・萌芽期薬害の確認(コウライシバ、ノシバ) ・高温期薬害の確認(コウライシバ、ノシバ) ・緑化木への影響の確認
	ノシバ	スズメノカタビラ発生初期 (年次変動の確認)		
4. HPW-112 乳+アシュラム 液 IPC:50%+アシュラム:37% [保土谷UPL]	ノシバ	ヤハズソウ生育期	継	継) ・効果薬害の確認(ノシバ)

A. 除草剤

薬剤名 有効成分 および含有率(%) [委託者]	作物名	ねらい	判定	判定内容
5. MBF-131 フロアブル ジラム:40% [丸和バイオケミカル]	ベントグラス	藻類発生前	実・継	実) [(ベントグラス) 藻類] ・ 芝生育期、藻類生育期 ・ 2~4mL<200mL>/㎡ ・ 茎葉処理 ・ 芝生育期、藻類発生前 ・ 2~4mL<200mL>/㎡ ・ 土壌処理 継) ・ 倍量試験での確認(ベントグラス) ・ 連用試験での確認(ベントグラス) ・ 実証試験での確認(ベントグラス) ・ 高温期薬害の確認(ベントグラス)
6. RGH-1601 SC 新規化合物:20.0% (w/v) [理研グリーン]	コウライシバ	雑草生育期	継	継) ・ 効果薬害の確認(コウライシバ、ノシバ)
	コウライシバ	ヒメクグ生育期(2回処理)		
	ノシバ	雑草生育期		
7. RGH-1602顆粒水和 (旧 KUH-007顆粒水和) カフェンストロール:45.0% レナシル:25.0% [理研グリーン]	コウライシバ	ヒメクグ発生前~発生初期 (2回処理)	継	継) ・ 効果薬害の確認(コウライシバ)
8. SG-180 フロアブル オキサジクロメホン:12% フルミオキサジン:2.5% [住化グリーン]	コウライシバ	薬害の確認	継	継) ・ 効果薬害の確認(コウライシバ、ノシバ) ・ 薬害発生要因の確認(コウライシバ、ノシバ)
9. UPH-003 顆粒水和 プロピザミド:50% [UPH-003協議会 *ユービーエルジャパン]	コウライシバ	雑草発生前	実・継	実) [春夏作;(コウライシバ)一年生雑草 (キク科を除く)] ・ 芝生育期、雑草発生前 ・ 0.3~0.5g<200~300mL>/㎡ ・ 土壌処理 [春夏作;(ノシバ)一年生雑草(キク科を除く)] ・ 芝生育期、雑草発生前~発生初期 ・ 0.3~0.5g<200~300mL>/㎡ ・ 土壌処理 継) ・ 一年生雑草発生初期での効果の確認(コウライシバ) ・ 倍量試験での確認(コウライシバ、ノシバ) ・ 連用試験での確認(コウライシバ、ノシバ) ・ 実証試験での確認(コウライシバ、ノシバ) ・ 緑化木への影響の確認
	コウライシバ	雑草発生初期		
	ノシバ	雑草発生前		
	ノシバ	雑草発生初期		

B. 生育調節剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	ねらい・試験設計等	判定	判定内容
1. BAF-1504 WDG 顆粒水和 新規化合物:6.8% +新規化合物:13.6% [BASFジャパン]	ベントグラス	夏季芝の根部衰退抑制効果	継	継) ・効果薬害の確認(ベントグラス)
2. MBF-162 顆粒水和 既知化合物:5% 既知化合物:4% [丸和バイオケミカル]	ベントグラス	根部衰退抑制効果の確認	継	継) ・効果薬害の確認(ベントグラス)
3. NC-224 ドライフロアブル アミスルプロム:50% [日産化学工業]	ベントグラス	ベントグラスの夏期高温時の 根上がり症状の抑制	継	継) ・効果薬害の確認(ベントグラス)
4. NF-171 顆粒水和 ピカルブトラゾクス:20% [日本曹達]	ベントグラス	根の生育促進効果	継	継) ・効果薬害の確認(ベントグラス)
5. NF-181 フロアブル 新規化合物A:5% 既知化合物B:5% [日本曹達]	ベントグラス	根の生育促進効果	継	継) ・効果薬害の確認(ベントグラス)
6. NGR-1402 水和 イソプロチオラン:20.0% フルトラニル:25.0% [日本農薬]	ベントグラス	発根促進効果	実・継	実) [春夏作:(ベントグラス)発根促進] ・芝生育期(春季) ・2.0g<500mL>/m ² 2回 散布間隔は30日を目安 ・土壌処理 継) ・倍量薬害試験での確認(ベントグラス) ・実証試験での確認(ベントグラス)
7. RYH-106 フロアブル オキサジアルギル:35.4% [バイエルクロップサイエンス]	コウライシバ	コウライシバ(ソッド)の根量 増加(生育促進)効果	継	継) ・効果薬害の確認(ベントグラス)
8. SL-950 乳 ニコスルフロム:4% [石原産業 *石原バイオサイエンス]	コウライシバ	多年生イネ科雑草の草丈伸長 抑制効果	実・継	実) [春夏作:(コウライシバ、ノシバ)チガヤの草丈 伸長抑制] ・芝生育期、チガヤ生育期 ・0.1~0.15mL<100~200mL>/m ² ・茎葉処理 継) ・チガヤ以外の多年生イネ科雑草に対する効果 の確認(コウライシバ、ノシバ) ・倍量薬害試験での確認(コウライシバ、ノシバ) ・連用薬害試験での確認(コウライシバ、ノシバ) ・実証試験での確認(コウライシバ、ノシバ) ・緑化木への影響の確認
	ノシバ	多年生イネ科雑草の草丈伸長 抑制効果		

広 場

宮崎大学農学部附属フィールド科学教育研究センター・
木花フィールド

詳しくは<http://wssj.jp/conference/>をご覧ください。

協会だより

■試験成績検討会

●平成28年度水稲関係除草剤沖縄試験成績検討会

日時：平成29年4月11日(火) 13:30~17:00

場所：植調会館3階会議室

〒110-0016 東京都台東区台東1-26-6

TEL 03-3832-4188

■学会・研究会のお知らせ

■日本雑草学会第56回大会

1. 会期：平成29年4月14日(金)~16日(日)
4月14日(金) 若手の会
4月15日(土) 一般講演・ポスター発表, ミニシンポ, ランチョン
セミナー, 総会, 学会賞受賞者講演, 懇親会
4月16日(日) 一般講演・ポスター発表, ミニシンポ
2. 場所：
・4月14日(金) 評議員会・若手の会
ホテルメリージュ (〒880-0805 宮崎県宮崎市橋通東
3-1-11 <http://www.merieges.co.jp/>)
・4月15日(土)・16日(日) 一般講演・ポスター発表等：
シーガイアコンベンションセンター (〒880-8545
宮崎県宮崎市山崎町浜山 JR 宮崎駅よりバス約25分
<http://mice.seagaia.co.jp/>)
3. セミナー等：
・ランチョンセミナー 4月15日(土) 昼休み
農業工業会主催により、「食料生産の重要性と農業の役
割」と題したセミナーを開催します。
・若手の会 4月14日(金) 17:30~20:00
ホテルメリージュ 3階 飛翔の間で開催します。
4. プログラム：
・宮本恭輔「水稲用除草剤の有効成分とそれら特性について」
・三浦恒子「秋田県の事例を中心にした水稲用除草剤合理的
使用方法」
・ミニシンポジウムについては下記のHPをご覧ください。
5. 問い合わせ先：大会幹事 松尾 光弘(宮崎大学農学部
附属フィールド科学教育研究センター)
本部：〒889-2192 宮崎県宮崎市学園木花台西1-1

■日本農薬学会農薬生物活性研究会第34回シンポジウム

1. 日時：平成29年4月21日(金) 10:20~16:15
2. 場所：東京農業大学校友会館グリーンアカデミー
(〒156-0054 東京都世田谷区桜丘3-9-31 小田急線
経堂駅または千歳船橋駅から徒歩15分)
3. 参加料：一般；3,000円、学生；1,000円(講演要旨代含
む) 事前申し込みは不要です。
4. 問い合わせ先：東京農業大学農学部農学科植物病理学
研究室(根岸寛光 TEL:046-270-6498, FAX:046-
270-6226, E-mail:negishi@nodai.ac.jp)
5. プログラム
・超音波や振動による害虫の物理的防除(特別講演)
高梨 琢磨(森林総合研究所)
・新規殺虫剤シクラニプロールの生物活性
武田 千秋(石原産業)
・新規殺菌剤ラクトバチルスプラントラムの生物活性(仮題)
梅村 賢司(MeijiSeikaファルマ)
・新規殺菌剤アシベンゾラル-S-メチルの特性と生物活性に
ついて(仮題)
中島 嘉秀(シンジエンタジャパン)
・新規除草剤トルピラレートの生物活性
菅沼 丈人(石原産業)
・新規除草剤メタミホップの生物活性(仮題)
白水健太郎(科研製薬)

植調第50巻 第12号

- 発行 平成29年3月30日
- 編集・発行 公益財団法人日本植物調節剤研究協会
東京都台東区台東1丁目26番6号
TEL (03)3832-4188 FAX (03)3833-1807
- 発行人 宮下 清貴
- 印刷 (有)ネットワン

© Japan Association for Advancement of Phyto-Regulators (JAPR) 2016

頒布価 500円(消費税・送料は含んでおりません)
販売 株式会社全国農村教育協会
〒110-0016 東京都台東区台東1-26-6(植調会館)
TEL (03)3833-1821